

# 平和学習プロジェクト 沖縄スタディーツアー

## 参加者募集！



※費用について

無料。

(ただし、沖縄滞在中の昼食・夕食の一部、大阪国際空港から自宅までの復路交通費は自己負担になります。)

3つの取り組みを行います！

(写真) 沖縄こどもの国 (沖縄市)

### 募集要項

#### 01 2泊3日の 沖縄スタディーツアー

参加者は沖縄で開催する交流、学習会に参加します。

#### 02 充実した事前学習

沖縄のスタディーツアーに役立つ講座、シンポジウムなど、充実した学習講座を提供します。

#### 03 高校生の交流

沖縄スタディーツアー、事前学習を通じて、豊中・沖縄の高校生の交流を行います。

#### 募集人数

豊中市内の高校 6名

沖縄県立コザ高校 6名

- ①豊中市内在住・在学の高校生。
- ②「平和」・「沖縄」に興味・関心があること。
- ③11月2日~11月4日に開催される沖縄スタディーツアー（平和交流学習）に参加できること。
- ④スタディーツアーに向けた事前学習に積極的に参加できること。
- ⑤個人情報・著作物・肖像権の利用に同意できること。

※応募の際は、レポート「志望動機」400字程度を提出いただき、人権平和センター豊中で選考予定です。（形式不問）

#### 事業に関する連絡先

〒561-0884 大阪府豊中市岡町北3-13-7

人権平和センター豊中 担当：嶋・久家

TEL:06-6841-1313 FAX:06-6841-1310

メール：toyojinken@city.toyonaka.osaka.jp

# 兄弟都市宣言のいきさつ

豊中市と沖縄市の交流は、昭和39年（1964年）にコザ市（のちの沖縄市）から、豊中市に住んでいる沖縄戦の戦没者の遺族に、霊石と仏桑華（ハイビスカス）が届けられたことに始まります。

昭和47年（1972年）に沖縄が本土に復帰し、昭和49年（1974年）にコザ市と美里村が合併し「沖縄市」が誕生しました。同年11月3日、沖縄市誕生市民祭典の場で、「兄弟都市宣言」が調印されました。兄弟都市という言葉は、沖縄の「いちゃりばちょーでー（出会えば兄弟）」という言葉に由来しているといわれています。現在でも、豊中まつりで沖縄の伝統芸能や物産の紹介をしたり、両市の少年少女サッカーチームが毎年相互に訪問し試合をするなど、両市の交流は盛んに行われています。

## スケジュール

4月	参加者募集
6月	参加者事前説明会
6月14日	豊中市主催オンラインシンポジウム
7月	豊中市・沖縄市オンライン学習会
9月	オンライン中間報告会
11月2日	沖縄スタディーツアー！
～11月4日	現地で成果発表会も開催

## チューター紹介

大阪大学大学院人文学研究科現代日本学研究室の協力で、2名の学生チューターが、イベントや平和学習をサポートします。



大阪大学大学院 人文学研究科の石川です。私は他者の話を聞くことに興味を持って研究をしています。私は沖縄をフィールドに調査を行ってきました。今回は高校生のみなさんとの出会いを通じて、多くのことを学べたらと思います。みなさんのご参加、お待ちしております。



豊中市公式キャラクター  
「マチカネくん」



沖縄市平和イメージキャラクター  
ソテツの妖精「キューナ」



大阪大学文学部 日本学専修4年の植村です。普段は、太平洋戦争終結後、中国大陸から引き揚げてきた女性たちに関する資料を読んだり、「語り継ぐ会」のみなさんのお話を聞きながら、戦争記憶の継承の可能性を研究しています。今回は高校生のみなさんをサポートしながら、一緒に学んでいきたいと思っています。よろしくお願いします！